

基本的な施策の方向性

都市個性	大項目	中項目	取り組み内容(項目出し)	審議会での 発言	審議経過	主要な論点	振り返り		
I. 環境	(1)防災環境都市づくり	①東日本大震災の経験と教訓の継承・発信	・仙台防災枠組2015-2030の推進(国際会議等での震災の教訓の発信) ・震災復興メモリアル事業の推進(震災遺構等活用、中心部震災メモリアル拠点整備)	○	○	○	○		
		②防災意識の高い地域づくり	・仙台市地域防災リーダー(SBL)の養成・活動支援 ・女性や若者など、地域における防災・まちづくり活動で活躍できる人材の育成 ・多様な主体と連携した防災減災対策(地域と協力した避難所運営、災害時要援護者への対応、帰宅困難者対策など企業との連携促進) ・仙台版防災教育の推進(教員育成含む)	○	○	○	○		
		③強靱な都市基盤の整備	・あらゆる災害のリスク分析を踏まえた強靱な都市基盤づくり(災害時の移動・物資輸送経路の確保、甚大な被害をもたらす可能性のあるライフライン施設の災害予防等)、災害時の情報収集・伝達手段の充実 ・気候変動によるリスクへの備え(影響や適応策の発信等) ・公共施設の耐震化・長寿命化、浸水対策	○	○	○	○		
			④防災を通じた地域経済の活性化	・防災・減災分野における先端技術の実証フィールドの提供・導入促進、防災ビジネスの促進	○	○	○	○	
		(2)環境に優しい快適に 過ごせるまちづくり	①脱炭素社会を目指したまちづくり	・温室効果ガス排出削減 ・再生可能エネルギー導入促進、消費エネルギーの削減 ・脱炭素型ライフスタイルに向けた啓発(環境意識の高い人材育成、環境に関する学びの場の創出)	○	○	○	○	
				②資源循環まちづくり	・食品ロス削減をはじめとする市民協働によるごみ減量とリサイクルの推進 ・プラスチック等資源循環の推進 ・廃棄物の適正な処理の徹底	○	○	○	○
				③自然と共生したまちづくり	・森林や里山など豊かな自然資源の維持管理・保全 ・生物多様性の保全に向けた啓発 ・水辺環境の保全と、ふれ合いの場の充実 ・自然環境と都市機能が調和した土地利用の推進	○	○	○	○
	(3)杜の都の息吹を感じら れるまちづくり		①暮らしを彩る緑の活用	・魅力ある公園づくり ・街中や民間・公共施設の緑化推進 ・市民が自然や農とふれ合う機会の創出 ・緑化の推進や保全活動など市民がみどりに親しみ、守り育む活動の促進 ・居久根やランドマークとなる名木・古木などみどりの歴史・文化資源の活用	○	○	○	○	
				②歴史と風格を感じるまちづくり	・景観条例や景観計画、広瀬川の清流を守る条例などに基づく良好な景観形成(老朽化建物更新時の配慮等) ・歴史文化資源の保全と活用(仙台城跡や青葉山公園の整備推進、陸奥国分寺跡・国分尼寺跡など文化財の保全、市民や観光客が楽しめる環境づくり)	○	○	○	○
		③グリーンインフラの導入	・環境への効果や災害リスクの低減などを念頭に置いた緑化政策の推進 ・子育て・教育・コミュニティづくり・健康福祉等の幅広い分野での緑の多機能性の活用	○	○	○	○		

Ⅱ. 共生	(1)長寿を謳歌し生きがいを持って暮らせるまちづくり	①健康で生きがいをもって活躍できるまちづくり	・健康寿命延伸に向けた一人一人の体と心の健康づくり	○	○	○	○	
			・医療・救急体制の充実(医療機関との連携促進、救急需要増加への対応)			○		
			・高齢者の知識や経験、能力を生かした活躍の場づくり、社会活動への参加促進	○	○	○	○	
		②住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり	・多様な生活支援サービスを提供する体制づくりや居住環境の整備		○	○	○	○
			・地域包括支援センターや医療・介護などの関係機関と連携した在宅支援		○	○	○	○
			・地域における支え合いの担い手育成、活動支援	○	○	○	○	
		③介護サービス基盤の充実と人材確保	・認知症の人が安心して暮らせる体制づくり		○	○		
			・介護サービスを担う人材の確保、高度化する介護ニーズへの対応に向けた人材の育成		○	○	○	○
			・ICTを活用した医療や介護分野が抱える課題解決の促進、健康産業の振興	○		○	○	○
	(2)障害のある方もない方も違いを尊重し合い、支えあうまちづくり	①共生社会の実現に向けた障害理解の促進	・各種介護サービス基盤の整備				○	
			・市民に対する障害理解の促進(オリンピック・パラリンピックを契機とした障害理解の啓発、障害理解サポーター養成、障害者スポーツ体験等を通じた理解促進)		○	○	○	
		②障害のある児童や発達に不安を抱える児童への支援	・バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくりの浸透	○	○	○		
			・早期療育の重要性の啓発・相談体制の整備	○		○		
		③安心して暮らせる生活環境の整備	・発達特性に応じた支援体制づくり(アール・幼稚園・保育所・学校等をはじめとした関係機関の連携強化、放課後等デイサービスなどの療育支援)	○		○		
	・地域での生活を支えるための相談支援体制の整備(区役所、専門的な相談機関、多様な障害特性に応じた相談機関)			○	○			
	④生きがいにつながる就労と社会参加の促進	・グループホームをはじめとした生活基盤の整備		○	○			
・重症心身障害・医療的ケア児者に対する支援体制の整備、医療・福祉・教育分野における連携の促進								
・障害福祉サービスの提供を担う人材の確保・定着					○			
(3)子育てしやすいまちづくり	①切れ目のない子育て支援の充実	・雇用促進、啓発、就労定着の取り組み(障害特性に応じた多様な就労環境の整備、企業等の理解促進に向けた啓発)		○	○			
		・スポーツ・文化芸術など交流活動への参加促進		○	○			
	②安心して子どもを預けることができる環境づくり	・子育てに関する相談体制充実(子育てふれあいプラザ、区役所、児童館、保育所等)	○	○	○	○		
		・妊娠前から妊娠期、出産、子育て期と切れ目のない支援体制の構築(産後サポート体制の充実、切れ目ない健診体制の整備)	○	○	○	○		
	③子どもたちを守るセーフティネットの強化	・子育ての経済的負担軽減						
		・待機児童解消に向けた多様な保育基盤の整備		○	○	○		
	④子育て応援まちづくり	・ニーズに応じた多様な保育サービスの充実		○	○	○		
		・保育士等の確保・育成			○	○		
		・児童虐待、DVなどへの対応(児童相談所の機能強化等)			○			
		・事故や犯罪に巻き込まれないような地域ぐるみの見守り		○	○	○		
④子育て応援まちづくり	・貧困家庭やひとり親への支援	○	○	○	○			
	・仕事と家庭の両立支援(企業の理解促進、男性の育児参加の促進など男女の役割分担意識の払しょくに向けた啓発等)	○	○	○				
	・子どもたちが多様な体験・遊びができる場づくりの促進、子育て情報のわかりやすい情報発信	○						
	・地域における身近な子育て支援機能の充実(子育てを学べる機会や親子が気軽に集い交流できる機会の提供)	○	○					

(4)多様な主体が地域で 関わり、支えあうまちづくり	①地域の顔が見える関係づくり	・町内会等地域活動団体支援、担い手確保 ・住民主体による地域づくりを応援する支援体制の整備(地域情報や課題を共有する場づくり、協働事業の推進)	○	○	○	
			○	○	○	○
	②多様な主体が連携する環境づくり	・企業や学生など多様な主体が地域に関わりやすい環境づくり、協働事業の推進 ・市民センターや市民活動サポートセンターなどの拠点を生かした地域活動支援、地域の担い手や多様な主体をつなぐコーディネーターの育成・支援 ・地域交通の検討・実践支援	○	○	○	○
			○	○		
			○	○	○	○
	③多文化共生社会づくり	・相談機能の充実、地域との交流の場づくり ・外国人の子どもの教育環境への適応支援、防災意識の啓発など個別課題への丁寧な対応 ・国際交流の推進	○	○		
				○		
			○			
	④男女共同参画の推進	・政策形成過程への女性の参画、男女共同参画への理解促進 ・女性に対する暴力の根絶、あらゆるハラスメント防止対策				○
	⑤多様な性のあり方を尊重する環境づくり	・多様な性のあり方への理解促進 ・多様な性のあり方に起因する困難への支援策の検討・実施	○	○		
			○	○		
	⑥安全安心な生活を支える環境づくり	・空き家・空き地の適正な管理、防犯対策、消費生活における安全安心の確保 ・道路施設の適切な維持・管理、生活道路の交通安全対策、自転車利用環境の整備 ・災害等への消防対応力の強化(消防施設等の整備、消防活動体制の確保) ・地域と一体となって取り組む救急対応の普及啓発・火災予防対策の推進、消防団活動の維持継続支援や担い手の確保	○	○	○	○
					○	○
				○	○	
				○	○	
⑦郊外地域の地域再生	・暮らしを支える都市機能の維持・改善	○	○	○	○	
⑧誰もが安心して共生できる地域福祉の推進	・地域福祉活動推進のための担い手の育成・支援 ・住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりの支援 ・複合的な課題等の解決に向けた、関係機関のネットワークづくりの促進	○	○	○	○	
		○	○	○	○	
		○	○	○	○	

Ⅲ. 学び	(1)子どもたちが健やかに学び成長する環境づくり	①個性と社会性を育む環境づくり	・職業体験活動や探求学習など社会とのつながりや多様な主体とのコミュニケーションを通じた、自己肯定感、社会性や職業観を育む取り組み ・多様性を理解し、思いやる心を育む取り組み(道徳性をはぐくむ教育、児童生徒の発達段階に応じた人権の重要性、情報化社会におけるモラルの醸成) ・幼少期からの非認知能力を育む取り組みや重要性の啓発(幼児教育の推進)、幼保小連携の円滑化に向けた取り組み	○	○	○			
		②確かな学力の育成	・基礎的知識の定着・応用力の育成、学習意欲向上 ・英語、プログラミング、ICT活用など時代に沿ったカリキュラムへの適確な対応、情報化推進 ・学習が遅れがちな児童生徒への個の状況に応じた指導・支援 ・体力の向上、食育など望ましい生活習慣づくりの推進	○	○	○	○		
		③地域とともに歩む学校づくり	・学校・家庭・地域総ぐるみで考える学校運営(コミュニティ・スクール推進) ・地域と連携した子供達への豊かな体験活動の場の提供(学校支援地域本部事業) ・放課後子ども教室推進事業	○	○	○	○		
		④安心して学べる環境整備	・いじめ・不登校の未然防止対策、相談体制の充実、心のケア ・教職員の多忙化解消に向けた取り組み ・特別支援教育の充実 ・不登校児童や外国人をはじめ様々な事情により学びに困難を抱える子どもへの支援、心のケア	○	○	○	○		
		(2)学都・仙台の資源を生かしたまちづくり	①若者の力を生かしたまちづくり	・大学等教育機関と地域の接続の促進 ・若者が政策形成に参画しやすい環境づくり	○	○	○	○	
			②知的資源を生かしたまちづくり	・次世代放射光施設整備を見据えた、研究開発促進・人材育成、大学ベンチャーの支援 ・大学のネットワークを活用したコンベンション誘致 ・学都仙台コンソーシアム運営支援(大学間連携促進、市民向け学びの提供)	○	○	○	○	
			③豊かな生涯学習機会の創出	・多彩な社会教育施設(動物園、天文台、博物館、科学館等)の機能充実による楽しんで学べる環境づくり ・せんだいうみの杜水族館やアンパンマンミュージアムなど民間施設も含めた多彩な学びの資源の連携促進 ・社会教育施設運営やイベントのボランティアなど担い手づくりと学びの人材ネットワークの充実	○	○	○	○	
			④地域における学びの充実	・市民センター等身近な社会教育施設において、市民に学びの機会を提供し、地域づくりにつながる担い手の発掘・育成を推進 ・仙台で培われてきた自然・歴史資産や生活文化など市民による奥深い学びの資源の発掘・発信(地域への愛着喚起)	○	○	○	○	
		(3)多彩な学びを楽しみ、社会に生かせるまちづくり	③人生100年時代の学び直し	・リカレント教育、高齢者の学び直し(グローバル、テクノロジー、地域づくりなど個人の視野を広げ実践できる環境づくり)	○	○	○	○	
			(4)文化芸術振興による豊かな創造性を育むまちづくり		・仙台クラシックフェスティバルや仙台国際音楽コンクール、定禅寺ストリートジャズフェスティバルなどのイベントの開催、市民が音楽に親しめる環境づくり ・楽都の拠点づくり(音楽ホール整備検討) ・青年文化センター、演劇工房10-BOX、能BOX活用での取り組みをはじめとする舞台芸術を通じた創造性・表現力の向上、伝統文化の継承 ・美術や映像など、市民がアートに親しめる環境づくり	○	○	○	○
						○	○	○	○
						○	○	○	○

IV. 活力	(1)時代の変革に対応する地域経済の成長まちづくり	①地域経済を牽引する企業の輩出	・地域を牽引する企業の集中支援、域内支援機関との連携促進 ・海外・首都圏等への販路開拓、事業展開、仙台港・仙台空港の利活用促進 ・産学連携や外部人材の活用などによる新事業展開、新商品開発支援	○	○	○	○
		②中小企業の持続性向上・経営力強化	・事業承継の円滑化(人材不足への対応)、経営改革を含めた組織体制の強化や中核人材の育成、諸課題に対する関係機関との連携 ・企業間連携の促進やビジネスマッチングなど域内資金循環の拡大 ・地元や地域に根差した企業活動の促進(CSR、CSV) ・商店街の活性化	○	○	○	○
		③リサーチコンプレックス形成	・次世代放射光施設の立地を中核とした研究開発拠点及び企業の集積、東北連携による産業力の強化	○	○	○	
		④Society5.0に向けたイノベーション促進	・ヘルステック、ケアテック、アグリテック、BOSAI-TECHをはじめ、最先端技術と社会課題を抱える分野との接続 ・ICT企業の集積やICT活用による生産性向上、人材の育成・確保 ・オープンイノベーションによる新規事業の創出、実証実験及び社会実装	○	○	○	○
				○	○	○	○
				○	○	○	○
		⑤農林業振興	・農業の収益性向上(6次産業化推進、地産地消の推進) ・多様な経営体の育成(農業経営体支援、担い手育成) ・生産基盤の確保(農地・農業用施設の整備、長寿命化) ・多面的機能の維持・向上(農業・農村の維持活動推進、森林環境税・譲与税を活用した林業振興)		○	○	○
						○	○
					○	○	○
				○			
	(2)多様な人材が活躍し、社会のイノベーションを生み出すまちづくり	①起業支援	・社会的・経済的インパクトを生み出すビジネスの創出、大手企業や大学等と連携した協業促進 ・仙台・東北の社会課題解決に取り組む起業家の育成、交流・協業促進 ・起業のすそ野の拡大(大学ベンチャー推進(再)、子どもたちへの啓発、体験)		○		○
				○	○	○	○
				○	○	○	○
		②個々人の生き方を尊重した多様な働き方の推進	・女性の活躍促進、外国人の活躍 ・高齢者・障害者等の就労促進 ・仕事と家庭の両立支援(育児、介護等) ・多様で柔軟な働き方の導入促進(テレワークや兼業・副業、リカレント教育など)	○	○	○	○
				○	○	○	
				○	○	○	
				○	○		
	③若者の地元定着促進	・地元企業の情報発信強化、地元企業と学生等との交流機会創出、高度人材等Uターン、奨学金返還支援 ・児童生徒や学生が地元企業を知る、働く楽しさを知る機会の創出	○	○		○	
			○				
	(3)仙台ならではの魅力の磨き上げと交流人口ビジネスの活性化	①観光資源磨き上げ・受入環境整備	・滞在時間延長や消費を促進させる体験プログラムをはじめ、地域特性を活かした多彩な観光資源の発掘・創出、観光に係るの担い手育成、来訪者の受入環境 ・仙台西部地区における豊かな自然資源や温泉等を活かした観光振興 ・閑散期や平日の誘客促進を通じた宿泊施設や飲食店等の稼働率向上に向けた取り組み	○	○	○	○
						○	○
				○	○	○	○
		②誘客促進・発信力強化	・ターゲットを明確化した観光プロモーション ・インバウンドの推進 ・コンベンションや企業内会議・研修会等(MICE)の誘致	○		○	○
				○	○	○	
				○		○	
		③広域連携強化	・東北一体となった国内外への魅力発信、復興ツーリズム ・東北の魅力を発信する拠点整備、東北におけるネットワークの強化	○	○	○	○
				○	○		○
④スポーツ振興	・プロスポーツ振興 ・スポーツイベントの開催をはじめ、市民がスポーツに親しめる環境づくり ・東京オリンピック・パラリンピックのレガシーの醸成(スポーツボランティア、パラスポーツ普及等)						
			○				

(4)エリアの特性を生かし 活力を生み出す都市機能 の強化	①機能集約型まちづくり	・土地利用と交通政策の一体的な推進による、機能集約型市街地の形成(市街地の拡大抑制、都心、拠点、都市軸などの交通利便性の高い地域への都市機能の集約、公共交通を中心とした持続可能な交通網の形成)		○	○	○
	②都心まちづくり	・民間建築物の建て替え促進、再開発による賑わい創出等の拠点形成、企業誘致促進、ゼロ・エネルギー・ビルディング ・定禅寺通活性化をはじめ、歩いて楽しめるまちづくり(回遊性向上) ・中心部商店街の賑わい創出、活性化 ・都心の回遊性と都心へのアクセシビリティを高める交通環境づくり	○	○	○	○
			○	○		○
			○	○		○
				○		
	③地下鉄沿線まちづくり	・地域特性に応じ、土地区画整理事業や優良建築物等整備事業を活用した都市機能の集積や、エリアマネジメントの推進 ・泉中央駅、長町駅、荒井駅など交通結節点にふさわしい魅力あるまちづくり			○	○
					○	○
	④活発な都市活動を支える交通政策の推進	・社会・経済活動を支え、物流・交流を促進する道路網の形成 ・良好な都市環境を維持、向上するための交通環境の改善			○	○
	⑤公共交通の快適性・利便性向上	・公共交通の利用促進(マイカーからの転換などモビリティマネジメント等) ・快適な地下鉄利用に向けた整備、バス乗り場の利便性向上 ・最先端モビリティシステムの導入			○	○
					○	○
⑥既存ストックの利活用促進	・リノベーションまちづくり ・道路等公共空間の利活用推進 ・まちづくり人材・組織の育成・活動支援	○	○		○	
			○	○	○	
					○	

V. 市役所経営	①組織力・人材力の強化	市役所経営部分は審議会の「本市が大切にする姿勢」に関する議論などを踏まえ、今後検討				
	②安定的な財政基盤の確保					
	③公共施設総合マネジメント					